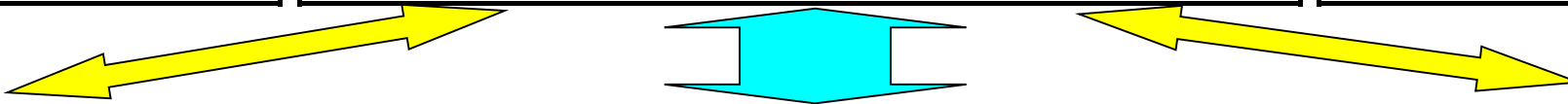


平成29年度 学力向上アクションプラン

尼崎市立浦風小学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
<p>○全国調査の結果から見られる課題 各教科の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語「話す 読む」は全国との差は少なかったが、「書く 読み取る」には課題がある。 ・算数 基礎的な力、活用する力に課題がある。 <p>○学力向上のために家庭との協力体制をとりながら、教師の指導力・授業力向上を図り、児童にわかる喜び・できる楽しさを味わわせることが課題である。</p>	<p>○問題解決型・探究型授業の研究【(1)講師招聘支援を活用】</p>	<p>○問題演習などにおいて複数指導での支援【(3)授業補助支援を活用】</p> <p>○各学力層に応じた学習支援の実施(補充、発展的な学習)【(4)放課後等学習支援を活用】</p> <p>○予習(下調べ)、授業、復習(くり返し、発展)の一体的な取組</p> <p>○基礎的・発展的な学習のプリント作成【(5)学力定着支援を活用】</p> <p>○読書力の育成</p>	<p>○漢字・計算タイムの充実</p> <p>○ICT機器を活用した授業</p> <p>○読み聞かせの会や図書室の環境整備を行う【(6)地域人材活用支援を活用】</p>	<p>○全国学力学習状況調査 質問紙調査(当てはまる+まあ当てはまる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習をほとんどしない(0%) ・授業の内容がわかる[国、算](90%以上) <p>○保護者アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもが学校が楽しいと言っている」(85%以上) ・「授業が子どもたちにわかりやすく行われている」(75%以上)



校種間連携	活用する支援内容		家庭・地域との連携
<p>①生徒指導申し合わせ事項を確認・指導</p> <p>②入学前テストの検証、小中における授業の改善の研修</p> <p>③夏季合同研修会・研究授業・講演会に積極的に参加し、情報交換をする。</p>	支援内容	具体的内容	<p>①保護者・担任による懇談会を実施。</p> <p>②読書力向上、登下校指導、花の栽培、鯉の飼育等の地域ボランティア参加を促し、地域社会で児童を育む環境をつくる。</p> <p>③学校だよりを地域にも配布。ホームページを適時更新。その中で、学力向上アクションプランの明示、学力調査結果の公表。</p> <p>④管理職中心に地域のパイプ役となり地域の連携・協力体制をつくる。</p>
	(1)講師招聘支援	・問題解決型・探究型授業(滋賀大学教育学部 辻 延浩教授 3回)	
	(2)先進校視察支援		
	(3)授業補助支援	・主に低学年の授業における同室複数指導 6h×25週	
	(4)放課後等学習支援	・放課後学習 2h×週1×26週 ・夏季休業期間 3h×6回	
	(5)学力定着支援	・学習支援に係る用紙・インク代 ・学習支援に係る書籍代	
	(6)地域人材活用支援	・地域ボランティア(読み聞かせ)年間50人	
	(7)その他		